

憲法しんぶん 速報版
 発行 憲法改憲阻止各界連絡会議 (憲法会議)

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp TEL03-3261-9007
 ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp FAX03-3261-5453

2018年6月21日 (木)
 NO. 868号 本号3頁

悪法の廃案と安倍内閣退陣を訴え、2200人 <19日行動>

「総がかり行動実行委員会」と「安倍9条改憲NO! 全国市民アクション」は19日、衆院第2議員会館前で、「19日行動」として「安倍9条改憲NO! 森友・加計疑惑徹底追及! 安倍内閣退陣! 6・19国会議員会館前行動」を開催しました。

毎月19日に開催しています19日行動は、2015年9月19日、国会で憲法違反の法律「安全保障関連法案」いわゆる戦争法が強行採決された事を忘れず、戦争法の廃止と世界の恒久平和実現を求める行動で、その時々々の政治的テーマも同時に取り上げるものです。

参加した2200人は「安倍政権は今すぐ退陣」「みんなの力で政治を変えよう」とコール。韓国の市民団体から送られたキャンドルライトを手にアピールしました。

菱山南帆子さんが主催者あいさつし、「私たちは共同の力でたたかい、ウソとねつ造にまみれた政治を変えていきましょう」と訴えました。

立憲民主党神谷裕衆院議員、日本共産党小池晃書記局長、社民党福島瑞穂副党首の国会議員がスピーチ。共産党からは多数の衆参両院の国会議員も参加。あいさつした小池晃書記局長は、「森友・加計」問題をめぐり「ウソと偽りの政治がさらに広がっている」と指摘。市民と野党の共闘の力で国会会期末ギリギリまで悪法の成立を阻んでいることを強調し、「会期延長を許さずに悪法は廃案に。疑惑は徹底追及して、安倍内閣を総辞職に追い込もう」と呼びかけました。

安倍政権にNO! 東京・地域ネットワークの女性(68)は市民と野党が応援した酒井直人氏が勝利した東京都中野区長選について、「15年8月から毎月2回、市民と超党派で続けた駅前宣伝の信頼が基礎になった」と述べました。



国民は納得していない! 森友・加計疑惑徹底追及を!

昭恵氏付の谷査恵子氏から財務省へ「優遇」の依頼文書暴露

共産党の辰巳孝太郎議員は18日の参院決算委員会で、二つの独自入手した内部文書を暴露しました。一つは、森友学園との国有地取引をめぐる国土交通省大阪航空局作成の内部文書です。安倍昭恵氏付の職員だった谷査恵子氏から財務省への照会の内容が具体的に書かれており、「優遇」の依頼だったことを示す文書です。

文書は、2015年11月12日に大阪航空局が財務省近畿財務局に、谷氏から財務省の田村嘉啓国有財産審理室長(当時)への照会の内容を聞き取った際のものでした。

「近畿財務局からの情報提供」と題して、照会内容について「新聞報道であった介護施設に対する賃料引き下げの優遇措置を小学校にも適用出来ないのか」「貸付料の減免、土壌汚染対策工事中の免除等はできないのか」と記述。末尾には「安倍総理夫人は、森友学園が開校を計画している『瑞穂の國記念小学院』の名誉校長に就任」と記されています。



谷氏の照会をめぐっては、財務省が5月末に公表した交渉記録に、「(学園から) 優遇を受けられないかと総理夫人に照会があり、当方からお問い合わせさせていただいた」と記載。安倍首相は「制度に関する問い合わせだ」と強弁していました。

辰巳氏は、内部文書によれば、田村室長が谷氏に回答した当日に大阪航空局まで情報が共有されたと指摘。「問い合わせは単なる制度の照会ではない。賃料値下げの要望だ」と追及。安倍首相や石井啓一 国交相らは「質問通告がなく、手元に資料がない」と述べるだけでした

「最高裁まで争う覚悟で非公表とする」 そこまで隠すのは「安倍案件」だから？

もう一つは行政機関の間のやりとりの公表をめぐって財務省と国交省がすり合わせをしたことを記したメモです。財務省理財局と近畿財務局のやりとり記録を「最高裁まで争う覚悟で非公表とする」と記されていました。公文書の改ざんが発覚した後もなお、財務省が隠ぺいを続けていることとなります。

辰巳氏が示したメモには、近畿財務局と大阪航空局のやりとりの記録については「国交省として、出すのが得策かどうか検討してほしい」とする一方で、近畿財務局と理財局のやりとりの記録については「最高裁まで争う覚悟で非公表とする」と、生々しいやりとりが記されています。辰巳氏は「本件がまさに『安倍案件』だからこそ、公表を拒んでいるとしか考えられない」と指摘しました。

さらに、辰巳氏は、メモには財務省の佐川宣寿前理財局長らの刑事処分について「官邸も早くということで、法務省に何度も巻きを入れている」と記されていることをあげ、「法務省を通じて検察に官邸が介入しようとしていたのではないかと」ただしました。共産党の暴露で財務省と国交省が会計検査院の報告の内容に介入していた疑惑が明らかになったのに続き、本来独立であるべき検察にまで政権が介入していた疑惑が浮上しました。

国会閉会前日に、突然会見した加計孝太郎氏 やはり証人喚問必要！

「加計学園」の獣医学部開設を巡り、加計孝太郎理事長は19日、岡山市の学園本部で、一連の問題発覚後、初めて会見を行いました。愛媛県文書に記載された2015年2月25日の安倍晋三首相との面会について「記憶にも記録にもない」と否定しましたが、その根拠は示しませんでした。

会見の中で、加計氏は「たまたま総理と仲が良かったということでこうなったかと思う」と発言。疑惑が浮上して一年余り、ようやく会見に現れた加計氏の説明は、どこか人ごとのようでした。その加計氏は、首相の関与については、きっぱり否定してみせました。「首相と獣医学部の話は…」と尋ねる記者の質問を途中でさえぎり、「ごさいません」と否定。五月下旬に報道各社にファクスしたコメント文と同様、首相との面会は「担当者のうそ」との主張を繰り返し、誤情報を伝えた責任を取って自身と担当者の処分を発表しました。

首相と会っていないなら2月25日に何をしていたのか。「部下のうそ」を証明する根拠を問われても、「記憶にも記録にもない」と押し切りました。昨年来、「加計ありき」をうかがわせる文書が明らかになるたびに国会審議は紛糾。会見で、世間を騒がせたことを問われると、「大変申し訳なかった。私どもは(学部開設の)申請者側。一貫していたのは非常に謙虚にやりたいたいと思っていた」とかわし、会釈するように軽く頭を下げました。

首相面会がうそなら、県や市をだましたこととなります。うそをついたことへの処分発表の会見だったにもかかわらず、加計氏から出た言葉は「これから気を付けます」だけでした。

そもそも会見は開始の2時間前に突然通告され、時間は30分足らず。それも地元のマスコミだけを集め、行われました。まさに、形だけ取り繕ったような会見に、愛媛県関係者は「会見の中身はゼロ。国民をなめているとしか思えない」と反発。多くの国民からは「うその上塗り。批判をかわすためにアリバイ的に会見を開いたようにしか思えない」と怒りの声が沸き上がっています。

各地のとくくみ

石川 金沢で50人が参加し、怒りの昼デモ

石川憲法会議と憲法を守りいやす共同センターは13日、金沢市のいしかわ四高記念公園横に50人が集まり、疑惑だけ、ウソとごまかしの安倍政権の退陣を求める「怒りの昼デモ」を行いました。

出発前のあいさつで国賠同盟県本部の納口清隆事務局長は「子どもの頃は、『ウソをついていけない。人に迷惑をかけてはいけない』と言われて育ち、親になったら同じことを子どもに教えます。安倍政権

はどうでしょう。これらのことを全部やっています。改ざん、隠ぺい、セクハラまで。ウソとごまかしの安倍政権は退陣してもらいしかありません」と訴えると、「そうだ!」と合いの手が入りました。

デモ行進は、「平和憲法9条を守ろう!」と書いた横断幕を先頭に「安倍9条改憲を許さないぞ」「安倍内閣は退陣せよ」とコールしながら繁華街に向けパレードしました。

沿道の男性が手を振って激励する姿がありました。

北海道 280人で安倍政権の退陣を求める総がかり緊急行動

戦争をさせない北海道委員会は14日夕、安倍政権の退陣を求める総がかり緊急行動を280人の参加で、札幌市の大通公園でくり広げました。

「隠ぺい・改ざん・ねつ造・セクハラ政権はいますぐ退陣」の横断幕がおりからの強風でなびくなか、「安倍辞めろ」「改ざん内閣総辞職」のプラカードを掲げ、「改ざんセクハラいい加減にしろ」「安倍はやめろ」等と元気にコールしました。

室蘭工業大学大学院の清末愛砂准教授は「東アジアの平和に向けて、米朝会談は希望が持てます。信頼関係を持つとする意志こそが私たちの平和を築く大きな力になるはずです」と訴えました。

日本共産党の畠山和也前衆院議員が参加し、デモに加わりました。

中央区の柳谷睦夫さんは「米朝会談はよかったね。このまま進んで行けばいいと思います。安倍政権は自分たちで何も努力しないで本当に情けない。拉致問題の解決も今のままでは無理だ」と語りました。



東京 がんばる府中! 3000万署名2万筆突破 6月15日

6月15日、府中プラッツのバルトホールで「選挙で変えよう! 府中市民連合2周年のつどい」が望月衣塑子東京新聞記者を迎えて行われ、定数を超える320人が参加しました。望月記者は「進む政治の私物化、瓦解する官僚たち~安倍政権とメディア~」と題して1時間45分にわたり、80コマのパワーポイントを駆使し、新聞記者・ジャーナリストとしての矜持、武器輸出問題、森友・加計疑惑からセクハラ、最新の米朝会談に触れ講演。情熱的でパワフルな語り口が参加者の感動的を呼びました。市民連合からはこの日に「アベ9条改憲許さない3000万署名」2万を突破したことが報告されました。「つどい」では立憲の菅直人衆議院議員が挨拶、共産の吉良よし子参議院議員のメッセージが読み上げられました。また、参加した、立憲、共産、自由、ネットの市議が紹介されました。



<東京革新懇 mailfax ニュースより>

全教 青年が憲法について語り合い、3000万人署名行動を行う。

全教青年部は5月12~13日に第34回定期総会を開催しました。1日目の夜に行われた青年憲法交流企画「憲法と出会う」は、「憲法について自分の言葉で語ってみよう」という青年部常任委員会での議論から企画したものです。初めに「憲法〇条と私」というテーマで常任委員3人が憲法について考え始めたきっかけなどをリレートークし、その後、小グループで参加者同士が憲法について考えていることを交流しました。「こんなことを言っているのが分からないけど」と前置きをしながら話したり、「憲法について興味をもったことがなかった」「9条に自衛隊を書きこむことがどうしてダメなのか実はよく分からない」といった率直な思いを自由に語り合ったりすることができました。参加者からは、「初めての体験でした。憲法について人に話す機会がなく、人生において意義がありました。リレートークは『自分も伝えたい』と思った人も多いはず。地元に戻って実践したい」といった感想が寄せられました。

総会終了後には、四ツ谷駅で行った3000万人署名と若者憲法集会の宣伝には、初参加の青年も含め17人が参加しました。シールアンケートも活用しながら対話や署名の呼びかけを行い、30分間で43筆の署名が集まりました。署名を呼びかける時に、「教職員の労働組合です」と話すと署名をしてくれる人がいたり、シールアンケートに応じてくれた中学生から「今が平和なんだから、9条を変えなくていいと思う」といった声が寄せられたりしました。初参加の青年からは、「みんなでやれば怖くないと思った」「思ったより反応が良かった」などの感想がありました。

<新聞全教より抜粋>